

2023年2月14日

各位

会社名 株式会社かんなん丸
代表者名 代表取締役社長 野々村 孝志
(コード番号 7585 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理部長 宮永 一彦
(TEL 048-815-6699)

第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年8月12日に公表いたしました2023年6月期の第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、通期業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異及び通期業績予想の修正について

第2四半期累計期間業績予想との差異 (2022年7月1日～2022年12月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	790	△95	△33	△36	9円44銭
実績値 (B)	599	△202	△199	△212	△55円68銭
増減額 (B - A)	△190	△107	△166	△176	—
増減率 (%)	△24.1	—	—	—	—

(注) 当社は2022年9月1日付で連結子会社である株式会社しんしん丸を吸収合併いたしました。当合併により連結子会社がなくなったことから、2023年6月期は個別決算による開示としております。前期は連結財務諸表を作成していたため、個別決算は作成しておりません。

通期業績予想の修正 (2022年7月1日～2023年6月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	1,650	△110	△50	△55	△14円43銭
今回修正予想 (B)	1,296	△348	△347	△300	△78円94銭
増減額 (B - A)	△353	△238	△297	△245	—
増減率 (%)	△21.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年6月期)	596	△558	△57	△10	△2円69銭

(注) 当社は2022年9月1日付で連結子会社である株式会社しんしん丸を吸収合併いたしました。当合併により連結子会社がなくなったことから、2023年6月期は個別決算による開示としております。なお、前期損益実績に関しては個別決算による数値を表示しております。

2. 業績予想との差異及び修正の理由

(1) 第2四半期業績予想値との差異の理由

当第2四半期累計期間における外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、経済活動への制限が緩和される中、お客様のご来店数は徐々に回復傾向の兆しは現れてきてい

るものの、コロナ禍以前の状況にはいまだ及ばない状況です。また、ロシアのウクライナ侵攻に端を発する世界的な物価高騰による、仕入原価の上昇及び水道光熱費の増加、パート・アルバイトの時給アップ、従業員確保に係る採用費用の増加等、販売管理費の増加が顕著になっており、経営環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような中、新型コロナウイルス感染症がこれまで以上の規模で感染が拡大した2022年7月からの第7波及び忘年会シーズンを直撃した第8波により、お客様のご来店客数の回復が緩やかであるため、当初予想数値より大幅に低迷したものです。また、事業再構築補助金の採択を受け、見込んでおりました補助金収入が当累計期間後になったことにより、当初予算との乖離が生じております。

コロナ禍3年目を迎えたお客様の消費マインドは個人と組織で異なった方針となりつつありますが、政府から発表されたマスク着用を求めない方針への変化を機に、様々な年代で気兼ねなく飲食店をご利用いただけるような生活の変化は、当社の業績回復に向け大きな追い風になると思料します。

今後は、基本に立ち返り、再来店いただけるお店づくりを当社の重点施策として、より一層の浸透並びに定着化に努め、また事業構造の見直しにより、利益の出せる体質を構築し、早期黒字化に向け企業努力を続けてまいります。

(2) 通期業績予想の修正の理由

通期につきましては、第2四半期の業績と店舗売上高の状況、仕入原価、水道光熱費、パート・アルバイト時給等、経費の動向を勘案し、前回予想を減益修正いたしました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上